権利としての社会福祉を守る全国の社会福祉法人のみなさん！ 分野と地域をこえて手をつなぎましょう！

一般社団法人　社会福祉経営全国会議

第5期管理職養成学校ニュース

Vol.3

2025年11月25日発行

連絡先/〒543-0045　大阪市天王寺区寺田町2-5-6-902
電話　06-6772-1360　Fax　06-6772-1376　e-mail jimukyoku1@f-zenkoku.net

～第2講座　社会福祉法人の在り方を学ぶ～

10月23日に開催された、第2講座「社会福祉法人の在り方を学ぶ」の模様をお伝えします。
講師は、全国会議会長の茨木範宏氏です。第2講座のねらいは以下の通りです。

【第2講座のねらい】
①社会福祉法人の歴史と、果たしてきた役割について再認識し、併せて今日的な課題に対峙する確信をもち、行動へとつなげる力を獲得する。
②自法人の理念を自らの言葉で他者に伝える力を獲得する
③他者の課題を共有することを通じて、管理職としての問題意識をさらに深め、ひいては自らの抱える課題を 別の角度から見直す機会とする
④他法人・他分野の管理職との実のある交流を深める契機とする

午前の部は養成学校恒例のプレゼンテーション。
第2講座のテーマは『「我が法人の経営理念」と「社会福祉法人が地域で果たす役割について」』です。
事前準備として「法人のトップ或いはそれに近い方からお話をうかがう」ことをお願いしました。ご協力いただいた各法人の皆さまありがとうございました。
そして、迎えたプレゼン本番、3分間で地域住民対し法人を語り、役割を説明しました。1枚のパネルに伝えたい想いを詰め込み、自分の言葉で地域の方々へ伝える素晴らしいプレゼンテーションが展開されました！

茨木先生は「歴史を学んだうえで自分の言葉で語れているか」「地域とのつながりを具体的な風景として描けているか」をポイントとして講評されました。今回の発表は地域での取り組みや展望が確かに語られ、「社会福祉法人は地域に貢献している」と堂々と言える内容だったと評価されました。また、法人名を大切にし“社会福祉法人〇〇の〇〇です”と名乗る意義についても触れられました。

事務局の舞台裏

社会福祉法人さつき福祉会　あいほうぷ吹田　施設長　仁木　悟

同友会時代から管理職養成学校の事務局に入って、気が付けば長い期間が経ちました。事務局仕事は大変ですが、毎年アップグレードされた講師の方々の講義が無料で聞けたり、何より福祉分野を超えた様々な全国の管理職の方々との出会いや繋がりの蓄積は貴重すぎます！講座ごとに飲み会もあります。楽しい学校事務局に皆さんも入りませんか？

社会福祉法人の現実を知る

午後はゼミ形式で、社会福祉法人をめぐる現状を学びました。全国の3～4割が赤字であり、介護分野の厳しさ、障害分野への企業参入の侵攻、株式会社は人件費率が低い構造で利益を出しやすい現実が示されました。人材不足の背後には処遇改善費が人材産業へ流れてしまう歪みがあり、営利と非営利の違いが見えにくい時代の課題が共有されました。

未来をつくるために、強みをどう活かすか

「社会福祉法人の強みとは？」をテーマにグループワークを行いました。各グループの報告から営利法人との違いにも着目しつつ、各ゼミで講義の中身が整理され、今後の展望を見出す論議ができたことが伺えました。

講義のまとめとして茨木先生は社会福祉法人の強みについて「公益性・非営利性」「地域との協働」「制度化を支えてきた歴史」「専門性と育ちあいの職場文化」の4点を挙げられました。

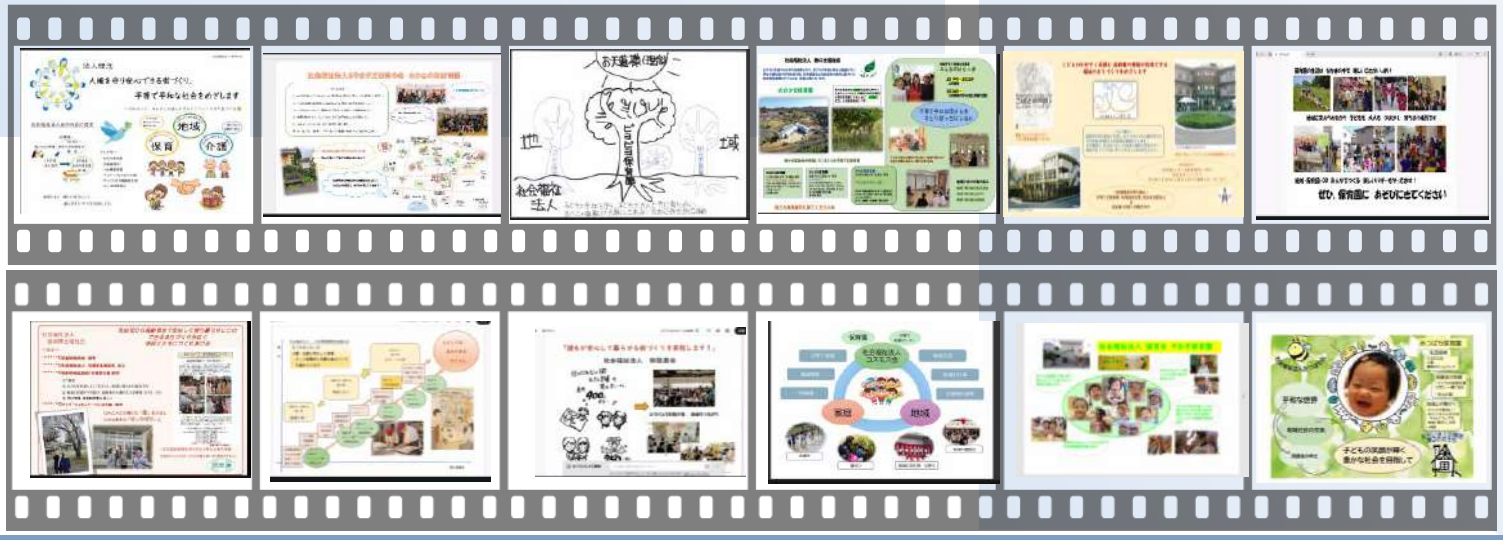
新内閣も発足してますます情勢は厳しいですが、民主的な経営力を高め、地域課題に向き合い、社会福祉法人の強みを活かして情勢を押し返そう！そのために、自法人の成り立ちと実践を確信にすることが重要で、社会福祉法人だからできることを事業や実践で示していきましょう。権利を守る社会福祉法人が認知され、地域の福祉を守りつくる存在として、その目線を持ち、実効的な取り組みができるかどうかが、これからの社会福祉法人の経営にとってカギとなる。今日の学びをどのように活かしていくのか、またいっしょに考えていきたいし、全国会議のなかで具体的に実践していきたい。と心強い言葉で第2講座は締めくくられました。この日の学びで更に受講生の皆さんが各地域で強みを活かした福祉実践を展開してくれることを期待しましょう！

国の政策と“求められる姿”

国は「生産性向上」「ICT活用」「大規模化」を推進し、合併の前段階である社会福祉連携推進法人を整備しています。福祉が市場原理に飲み込まれつつある状況を踏まえ、規模にかかわらず“豊かな連携”をどうつくるかが問われています。これから学ぶ人にとっても「どこへ向かうのか」という大きな問いを共有し、未来の福祉を担う立場で考える必要があることが示されました。

歴史を知り、社会福祉法人の強みを捉える

社会福祉法人は、地域の福祉要求と自治体の取り組みのなかで公共性・非営利性を基盤として誕生してきた歴史があります。しかし助成は減少し、公的責任が後退する現代では、準営利的な立ち位置へ押し込まれる危機も生じています。こうした歴史を学ぶことは、「なぜ社会福祉法人で働くのか」を考えるための重要な視点となります。



第3講座
組織運営を学ぶ

2025年11月20日(木)～21日（金）

講師：よさのうみ福祉会理事長　青木一博氏
ワークセンター花音管理者　藤原さゆり氏
株式会社シオノ鋳工　代表取締役　塩野浩士氏

Bゼミ　BTF
（ベア・ザ・フューチャー）